もりのなか通信　第5号

こびっとまつり2013　レポート

こびっとハウスは、まだリフォームの真っ只中ですが、ゆかいな仲間達のおかげで、実験的なイベントをすることが出来ました。前日の11日、10月とは思えない暑さの中、絵の展示が始まり、シャーマニズム演劇の稽古が始まりました。スタッフにとっては濃い4日間の始まりでした。

初日の12日は、打って変わってあいにくの雨。気温も低い中、祭りはスタートしました。「これは精霊の歓迎だと思うよ」と画家のマシマさん。午後の岩原さんのアフリカのお話は、暮らしの中にリズムがあり、それが音楽の原点にあるという話や音楽が生まれた文化の紹介がありました。

13日は雲は切れて日が差してきた、この日も朝の演劇練習。場の精霊を感じるワークで皆で風になってみました。そことうまくつながってしまったのか、風がビュービューのお天気に！しかし、室内での自然香水づくりのワークショップは、アロマやドイツの植物療法のこと、赤ずきんちゃんのお話は女性性と関連しているなどメルヘンの解釈のお話しなど、豊泉女史の深い話を聞きながら、自分だけの香水づくりを楽しみました。自然の恵みである精油からつくった香水は、日常生活で気軽に使うことができて、日ごろのセルフケアにもとてもいい感じに取り込めるということをあらためて感じました。

郡山や喜多方、関東やネパールからなど、人数は多くないですが、様々な場所から来場者があり、そしてこれからにつながる出会いが、あちらこちらで起きていたり、ワクワクな時空間となりました。

こびっとシャーマニズム劇団☆裏磐梯とこびっとハウスに捧げる物語☆

演劇は、裏磐梯とこびっとハウスの物語を仲間達と考えて上演しました。裏磐梯の自然・四季のこと、1888年の噴火後に人々が苦労して開拓した土地であること。観光地として今の裏磐梯がだんだん出来てきた経緯。そして、この地に伝わる猫魔岳の化け猫伝説。本来の化け猫伝説は、自分の夫猫をキコリに殺された妻猫が、キコリに復讐して、キコリの妻を食べてしまうシーンで終わっています。キコリと猫が和解出来ないか、それが人間界と動物や自然界が共生する象徴になればということで、化け猫伝説こびっとヴァージョンを考えて、4日間の合宿でつくり上げ、上演しました。

earth spiral

Earth Spiral（urabandai）
http://www.earthspiral.jp
anju.earthspiral☆gmail.com

Earth Spiral
第5号 平成25年10月
不定期発行

「こびっとハウス」名前の由来

ロードオブザリングという映画に出てくるホビット族が住んでいるような、自然の中に埋もれた洞窟のような家をイメージしました。大人でも子どもに戻れたり、自然の中にいる妖精のような「こびと」みたいに、人間の窮屈な視点から解放された自由を感じられる場所にしたいという希望、そして、親しみやすい語感にしようと「こびっとハウス」と命名しました！